



■人口	73,083	(+ 17)	()は前月比
男	37,969	(- 15)	
女	35,114	(+ 32)	
■世帯	23,525	(- 16)	

発展と夢を乗せ未来に出発“常磐新線”

ほっ、とする都市になりたい。



八潮市

シンボルマーク決まる

市制施行20周年を記念した八潮市の一大事業の一つ「やしおC-1導入宣言」が1月15日、市制施行20周年記念式典で発表され、新しい八潮市の顔となるシンボルマークが「八潮ツリー」に決まりました。

このC-1(シテイアイデンティティ)は「あたたかく生きる都市」を目標像に、市民の皆さん一人ひとりが主人公となり、新しい八潮市のイメージを内・外に広める市をあげての運動です。

●シンボルマークは「八潮ツリー」。

新しい八潮市の顔となったシンボルマークのニックネームは、八潮ツリー。人間のエネルギーをテーマに、未来に向かって伸びゆく八潮市をダイナミックで先進的な造形によりシンボライズしています。土台のやや濃い黄色は現在の市民を、その中の淡い黄色は市役所を、その上に乗る緑色の幹は現在の八潮市を、青色の斜めの枝はこれからの八潮市を、その左の枝は伸びゆく市民を、そして頂上の赤色は市民のエネルギーを表現。大地にしっかりと根をおろし、市民と市役所が一致協力して実りある、あたたかい明日をめざす「成長樹」です。

やしおC-1導入宣言

社会は今、国際化・高齢化・高度情報化が進み、時々刻々と変化しています。そうしたなか八潮市では、いよいよ常磐新線計画が具体的に動き始めるなど、未来に向かって市民エネルギーが高まりを見せています。

今こそ、21世紀の八潮市の成長と繁栄のため、市民の皆様と行政がともに誇りと自信を持つことができるまちづくりをめざし、より新しい八潮市のイメージを内・外へ表明していくときです。

そこで本市では、このたび新しい市の顔となるシンボルマークや市の歌を制定し、市職員の意識改革や組織内部の活性化を図り、ひいては市域全体のイメージアップをめざして、真に八潮らしいまちづくりを強力に推進していくために、ここに「やしおC-1導入」を宣言いたします。

この運動の目標像は、「あたたかく生きる都市」。人が、産業が、自然が、文化があたたかい、ぬくもりあふれる心のふれあいが息づく、人間中心都市をめざします。

平成4年1月15日

八潮市長 藤波 彰

■広報やしおの題字が、次号から左記のようになり変わります。ひきつづき、ご愛読くださいますようお願いいたします。

ほっ、とする都市になりたい。

やしお